

りリアルな情報はICT機器で

〈授業のユニバーサルデザイン化の例Ⅳ〉

板書や授業プリント以外にも、ICT機器の活用で「見える化」をより充実させることができます。だれもがひと目で分かるリアルな映像によって、注意力や記憶力の持続を促します。

県内のある高等学校での「生物基礎」の授業では、白血球の食作用の動画を電子黒板に流し、途中で画面静止や記号挿入をしながら、分かりやすく説明をされていました。



※ただし、インパクトのある映像や音響に過敏な生徒もいるので、視聴の前に予告して、心の準備をさせておくことが重要です。